

広報 いわむら

発行／新潟県岩室村役場

昭和60年

6/1

第278号

岩室村のあつ記

(23)

「種月寺」

石瀬



オツ、風が変わった。初夏の気配——そんな五月、ゆるゆると歩いていって歩みを止めた場所は、石瀬の福地山・種月寺。しっとりとした山門をくぐり、境内を行くと、古刹の重みがわたしたちをひき込む…。深い緑に涅槃図を抱いて静かにたたずむ種月寺は、文安三年（一四四六年）、南英謙宗が守護の上杉房朝の援助をうけ開山し、村上の耕雲寺、魚沼の雲洞庵、村松の慈光寺と並んで、曹洞禅の越後四大道場の一つとして知られる名刹。なんだか教科書めいてしまったけれど、わたしたちには、公民館の村民講座、座禅会などでなじみ深い…。

▲越後四大道場の一つとして名高い種月寺。境内にあるギンモクセイ・キンモクセイが、古い禅寺の威容に柔らいだ趣を添えていた。また、県の重要文化財になっている南英謙宗墨跡をはじめ、火防石など寺宝も数多い。(5月15日撮影)



岩室村の人口
(4月30日現在)

■ 男 4,788人 (+2)	■ 女 5,257人 (±0)	■ 合計 10,045人 (+2)
■ 世帯数 2,504世帯 (+3)		(住民基本台帳による)